



環境経営レポート

対象期間：2025年 1月 1日～2025年12月31日



いの町（東黒森山頂）

発行年月日 2026年 2月 2日

株式会社 関西設備

1	組織の概要	1
2	対象範囲（認証・登録範囲）	2~3
3	環境経営方針	4
4	環境管理組織体制	5
5	環境経営活動への取組の全体概要	6
6	環境経営目標	7
7	環境経営計画	8
8	環境経営目標の実績	9~13
9	環境経営計画の取組結果とその評価	14~17
10	次年度の取組内容	18~19
	（1）環境経営目標（2026年）	
	（2）環境経営計画（2026年）	
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	20
12	代表者による全体評価と見直し・指示の結果	21

発行日：2026年 2月 2日

発行責任者：環境管理責任者 代表取締役 長瀧 益雄

次回発行予定：2027年 2月 頃

1. 組織の概要

【事業者名】 株式会社 関西設備

【代表者氏名】 代表取締役 長瀧 益雄

【所在地】

本社 〒781-5101
高知県高知市布師田3961番地10
TEL : 088-846-2222
FAX : 088-846-0909
E-mail : info@k-kansai.jp

ダクト部 〒781-5101
高知県高知市布師田3961番地10
TEL : 088-846-2222
FAX : 088-846-2230
E-mail : dakuto @k-kansai.jp

※2025年9月1日より
本社に移転

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 小笠原 誠
連絡先担当者 小笠原 誠
連絡先 TEL : 088-846-2222
FAX : 088-846-0909

建設業（空調設備工事、給排水衛生設備工事、消防施設工事）
建設業許可

許可番号 高知県知事（特—4）第1499号
許可年月日 令和4年6月12日
建設業の種類
・管工事業
・水道施設工事業
・消防施設工事業
・とび・土工工事業
・舗装工事業
・土木工事業
・しゅんせつ工事業
・鋼構造物工事業
・電気工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和45年6月24日
資本金 2,100万円

	2023年度	2024年度	2025年度
製品生産量・出荷額（売上高） （千円）	539,614	676,258	535,303
従業員数（名）	31	30	32
本社延床面積（㎡）	956.48	956.48	956.48
ダクト部延床面積（㎡）	292.29	292.29	本社に移転

従業員数：12月31日現在

会計年度：1月～12月

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

【対象範囲】

株式会社 関西設備 全社（全組織、全活動、全従業員）

【対象事業所】

本社 〒781-5101 高知県高知市布師田3961番地10

ダクト部 〒781-5101 高知県高知市布師田3961番地10（2025年9月1日本社に移転）

【事業活動】

建設業（管工事業、水道施設工事業、電気工事業、消防施設工事業）

【環境経営レポート対象期間】

2025年 1月 1日～2025年12月31日

【環境経営レポート発行日】

2026年 2月 2日

【作成責任者】

環境管理責任者 営業部 小笠原 誠

【持続可能な開発目標（SDGs）】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO ₂ 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO ₂ 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【経営理念】

私たちは、高知市を中心にして高知県内で管工事・空調設備工事を主体とした事業を行っています。管工事業を通じて地球環境の保全と融和を図り、次世代の未来に及ぼす影響を常に考え、事業活動における環境負荷低減を行い、全社一丸となって、継続的改善による環境経営を推進していきます。

【基本方針】

1. 当社は、管工事業を通じて環境への影響を常に認識し、環境負荷低減を図る為次の事項を重点的に取り組みます。
 - ①温暖化防止の為、電力・燃料消費に伴う二酸化炭素排出量を削減します。
 - ②廃棄物最終処分量削減の為、正しい分別でのリサイクルを推進します。
 - ③節水を促し水使用量を削減します。
 - ④事業活動を通じてお客様に環境負荷の少ない空調機器等の普及を促進します。
 - ⑤地域ボランティアや清掃活動に積極的に参加します。
2. 環境関連の法規・条例等を遵守し、事業活動をいたします。
3. この環境経営方針を全従業員に周知し、環境に対する意識の向上に努めます。
4. 環境への取組を環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

2010年10月28日

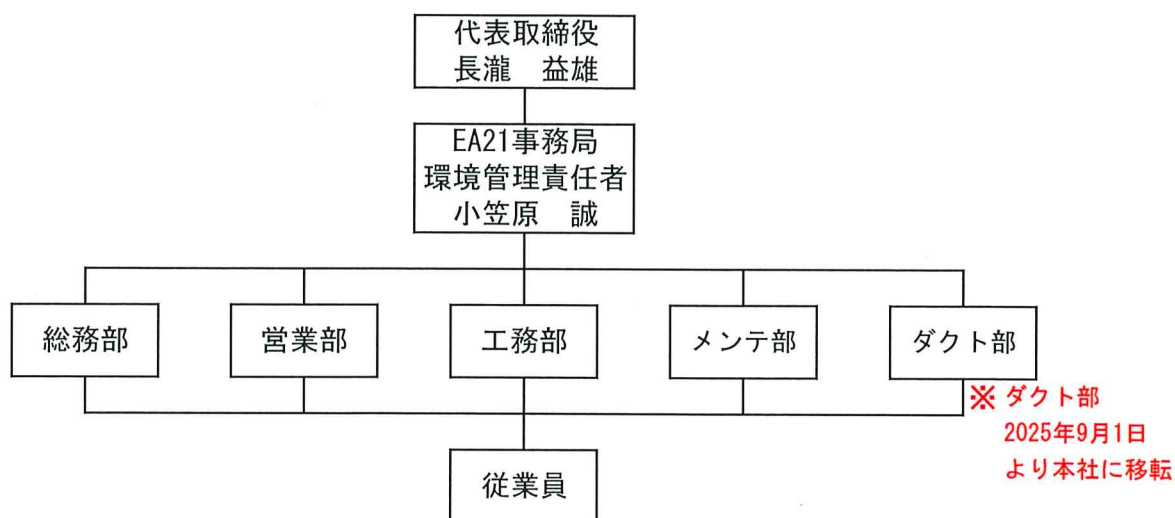
2015年 6月 1日

2019年 6月 1日

2019年 9月 1日

株式会社 関西設備
代表取締役 長瀧 益雄

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 代表者による全体評価と見直し実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 自部門に関係する環境経営計画の実施、達成状況報告 自部門に関係する緊急事態訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

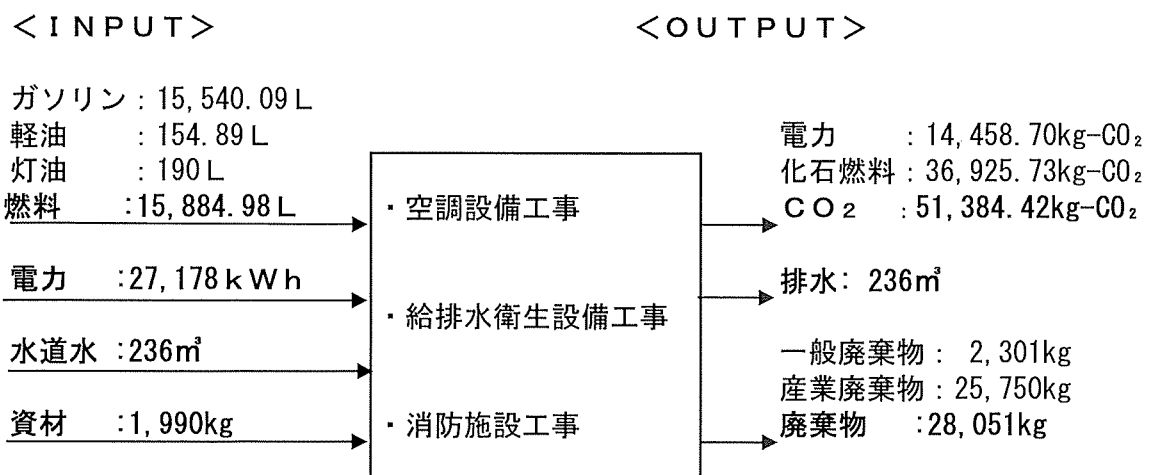
5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

今年度は、一般廃棄物排出量を除く項目において目標達成することが出来ました。要因としては、2025年9月1日よりダクト部が本社に移転した事で、電気代及び水使用量共に削減できた。工事に関しては、受注物件数も少なく比較的工事現場が高知市内及び近隣市町村が多かった為燃料使用量、産廃排出量共に下がったと思われます。一般廃棄物排出量に関しては、ダクト部移転に伴い不用品等の処分をした為、排出量が増加しました。

<株式会社関西設備の物質フロー> (2025年度)



6. 環境経営目標（2025年度）

単年度目標

中期目標（2025年～2027年）

項目	総量	単位	基準年 2023年度 2023.1～ 2023.12	2025年度 目標 2025.1～ 2025.12	2026年度 目標 2026.1～ 2026.12	2027年度 目標 2027.1～ 2027.12
売上高		百万円	539	600	600	600
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	102,040	101,498	101,188	100,489
電力使用量	総量	(kWh)	35,059	34,800	34,700	34,500
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	35,597	35,300	35,200	35,000
軽油使用量	総量	(ℓ)	74	200	200	150
灯油使用量	総量	(ℓ)	246	230	220	220
水使用量	総量	(m ³)	267	260	255	250
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,177	2,150	2,140	2,100
産業廃棄物排出量	総量	(t)	39.56	39.20	39.10	39.00
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.80	93	94	95
環境に配慮した工事	総量	(%)	336/336 100%	100	100	100
環境美化活動	総量	回	2	4	4	4

※1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数（令和3年度実績）（令和5年1月24日公表）の四国電力の調整後排出係数0.532（kg-CO₂/k）を使用した。

※2. 環境に配慮した工事

- 省資源化と高効率化を図る配管ルート検討
- 環境負荷の少ない資材の使用
- 使用材料のロスを最小限に抑える

※3. 化学物質は使用していないので目標対象外とする

※4. 産業廃棄物再資源化率（%）＝再資源量÷総排出量×100

7. 環境経営計画（2025年度）

期間：2025年1月～2025年12月

項 目		活 動 内 容	SDGs	責任者
CO ₂ 排出量 削減	電力使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休み時間の消灯と不要照明の消灯 ・ エアコンの設定温度の適正化 （冷房27(+/-2)℃・暖房22(+/-2)℃） ・ 夏場、扇風機の使用を心掛ける ・ 残業及び夜間時の照明は必要限度とする 	○	総務 ダクト 各部長
	燃料使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップ ・ エコ運転の実施 ・ 不要物の積載禁止 ・ タイヤの空気圧の適正化 ・ 走行経路を事前に検討しておく ・ 安全運転の励行及び法定速度の遵守 ※ 現場への移動は相乗りとする	○	メンテ ダクト 各部長
水使用量削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水の徹底、声掛け ※ 漏水点検の実施 ※ 食器等のまとめ洗い ・ 節水型機器への更新	○	総務 ダクト 各部長
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用紙の裏面使用及び印刷ミス削減 ・ 伝達事項等メールの活用 ※ ゴミの分別を再徹底	○	工務 ダクト 各部長
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の分別の徹底及び適正処理 ・ 産業廃棄物は、できるだけ再生資源処理業者に依頼する ※ マニフェストによる適正な管理・処理を行う	○	
環境に配慮した設計施工の 実績		<ul style="list-style-type: none"> ・ 省資源化と高効率化を図る配管ルート検討 ・ 環境負荷の少ない資材の使用 ・ 使用材料のロスを最小限に抑える 	○	工務 メンテ ダクト 各部長
環境美化活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ボランティア及び清掃活動への参加 	○	営業部長

※ 印は新規活動項目です。

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量	単位	2023年度 実績 (基準年)	2025年度 目標	2025年度 実績	達成率	評価
売上高		百万円	539	600	535		
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	102,040	101,498	51,384	198	○
電力使用量	総量	(kWh)	35,059	34,800	27,178	128	○
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	35,597	35,300	15,540	227	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	74	200	155	129	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	246	230	190	121	○
水使用量	総量	(m ³)	267	260	236	110	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,177	2,150	2,301	93	△
産業廃棄物排出量	総量	(t)	39.56	39.20	25.75	152	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.80	93	99.50	107	○
環境に配慮した工事	総量	(%)	336/336 100	100	444/444 100	100	○
環境美化活動	総量	回	2	4	4	100	○

※1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数（令和3年度実績）（令和5年1月24日公表）の四国電力の調整後排出係数0.532（kg-CO₂/k）を使用した。

※2. 環境に配慮した工事
 ○省資源化と高効率化を図る配管ルートを検討
 ○環境負荷の少ない資材の使用
 ○使用材料のロスを最小限に抑える

※3. 評価は、「○」100%以上「△」90~99%、「×」90%未満

※4. 化学物質は使用していないので目標対象外とする

※5. 産業廃棄物再資源化率（%）＝再資源量÷総排出量×100

＜環境経営目標未達成等理由＞	
CO ₂ 排出量	達成
電気使用量	達成
燃料使用量	達成
水使用量	達成
一般廃棄物	ほぼ達成 ダクト部の本社移転に伴い不要品及び書類等処分した為。
産業廃棄物	達成
産業廃棄物再資源化率	達成
環境に配慮した工事	達成
環境美化活動	達成

〈過去の実績〉 (2020年~2024年)

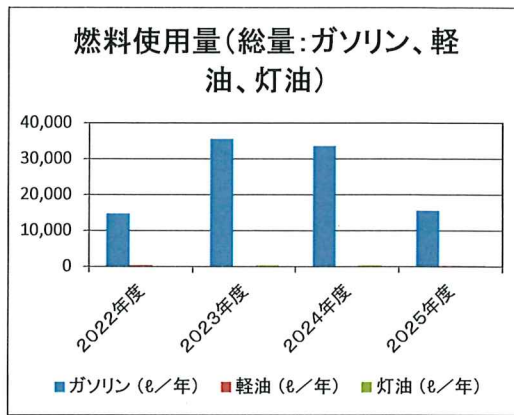
項目	総量	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
売上高		百万円	703	437	1069	539	676
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	43,183	45,091	47,491	102,040	96,894
電力使用量	総量	(kWh)	23,570	22,521	23,398	35,059	34,035
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	13,105	14,265	14,749	35,597	33,594
軽油使用量	総量	(ℓ)	93	6	320	74	54
灯油使用量	総量	(ℓ)	0	0	0	246	286
水使用量	総量	(m ³)	205	173	233	267	247
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,180	2,233	2,664	2,177	1,518
産業廃棄物排出量	総量	(t)	76.91	115.0	39.71	39.56	30.18
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.8	92.6	89.6	91.8	81.1
環境に配慮した工事	総量	(%)	221/221 100	112/112 100	247/247 100	336/336 100	434/434 100
環境美化活動	総量	回	3	4	2	2	3

〈過去の実績〉 (2025年~2029年)

項目	総量	単位	2025年度 実績	2026年度 実績	2027年度 実績	2028年度 実績	2029年度 実績
売上高		百万円	535				
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	51,384				
電力使用量	総量	(kWh)	27,178				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,540				
軽油使用量	総量	(ℓ)	155				
灯油使用量	総量	(ℓ)	190				
水使用量	総量	(m ³)	236				
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,301				
産業廃棄物排出量	総量	(t)	25.75				
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.5				
環境に配慮した工事	総量	(%)	444/444 100				
環境美化活動	総量	回	4				

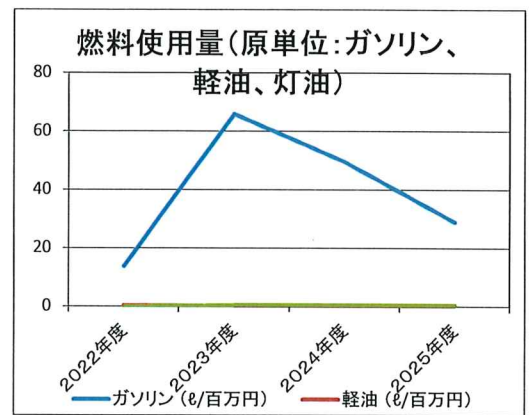
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2022年度	14,749	320	0
2023年度	35,597	74	246
2024年度	33,594	54	286
2025年度	15,540	155	190



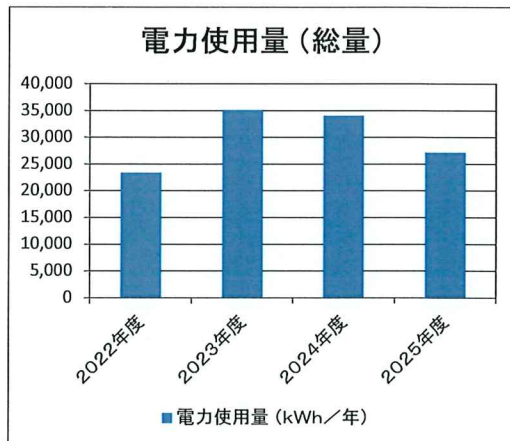
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2022年度	14	0.30	0.0
2023年度	66	0.14	0.46
2024年度	50	0.08	0.42
2025年度	29	0.29	0.36



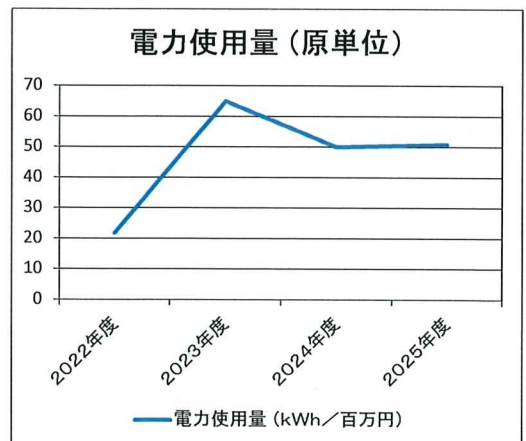
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2022年度	23,398
2023年度	35,059
2024年度	34,035
2025年度	27,178



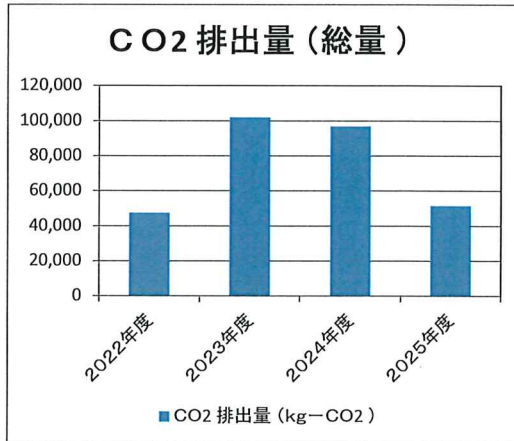
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2022年度	22
2023年度	65
2024年度	50
2025年度	51



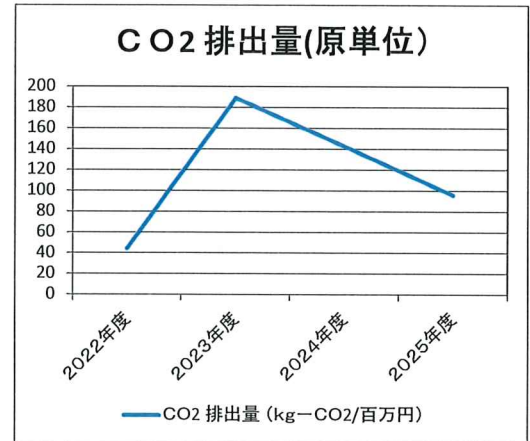
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2022年度	47,491
2023年度	102,040
2024年度	96,894
2025年度	51,384



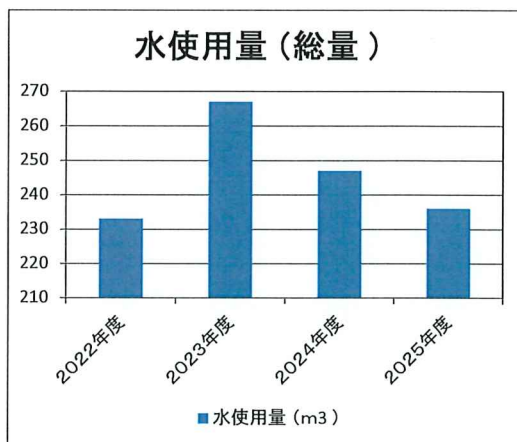
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2022年度	44
2023年度	189
2024年度	143
2025年度	96



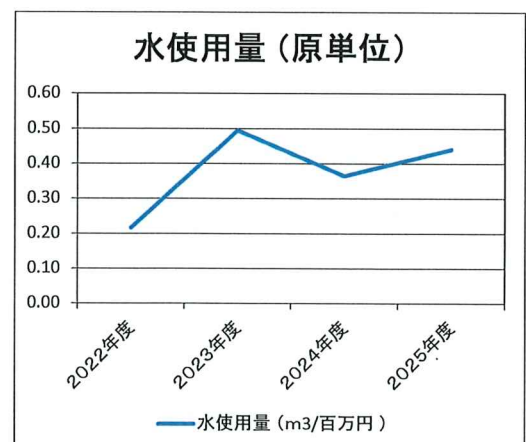
水使用量 (総量 : m³)

年度	水使用量 (m ³)
2022年度	233
2023年度	267
2024年度	247
2025年度	236



水使用量 (原単位 : m³/百万円)

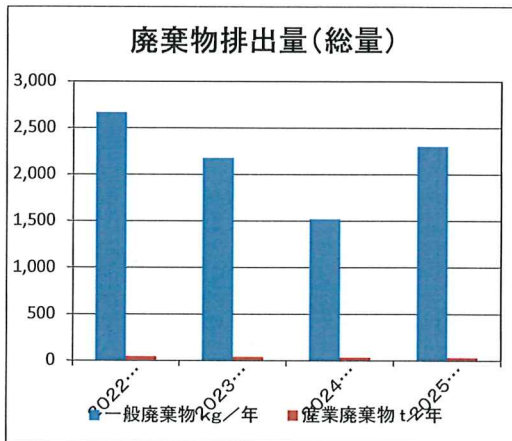
年度	水使用量 (m ³ /百万円)
2022年度	0.22
2023年度	0.50
2024年度	0.37
2025年度	0.44



廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）

単位：一般廃棄物 kg/年
 単位：産業廃棄物 t/年

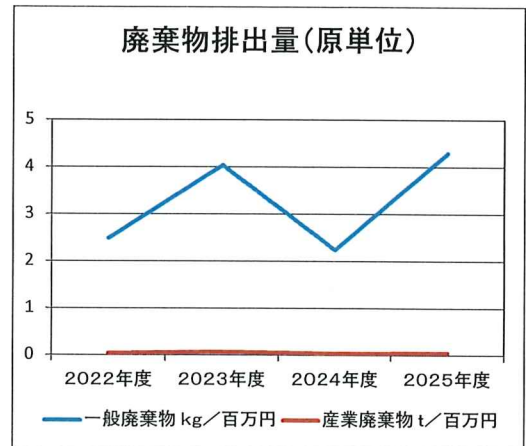
年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2022年度	2,664	39.71
2023年度	2,177	39.56
2024年度	1,518	30.18
2025年度	2,301	25.75



廃棄物排出量（原単位：一般廃棄物、産業廃棄物）

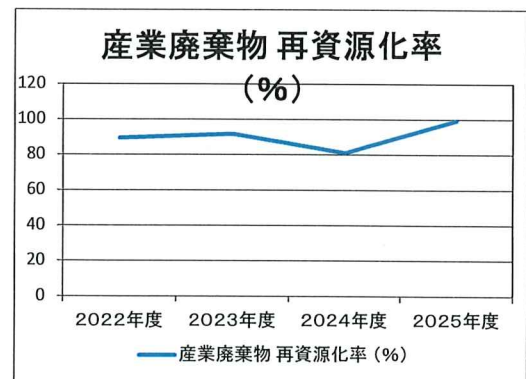
単位：一般廃棄物 kg/百万円
 単位：産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2022年度	2.49	0.04
2023年度	4.04	0.07
2024年度	2.25	0.04
2025年度	4.30	0.05



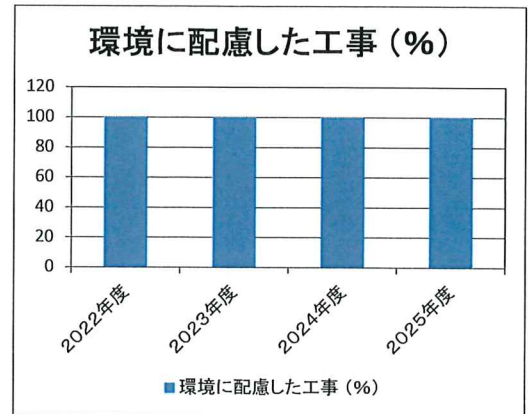
産業廃棄物再資源化率（%）

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2022年度	89.6
2023年度	91.8
2024年度	81.1
2025年度	99.5



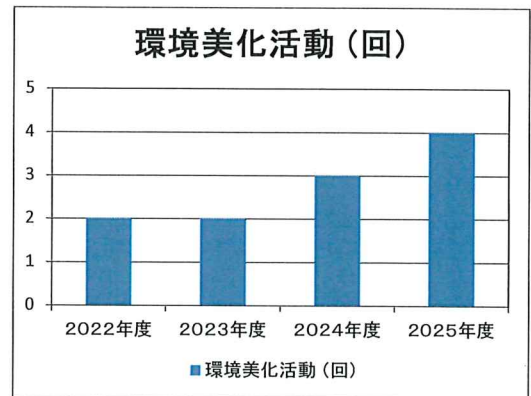
環境に配慮した工事 (%)

年度	環境に配慮した工事 (%)
2022年度	100
2023年度	100
2024年度	100
2025年度	100



環境美化活動 (回)

年度	環境美化活動 (回)
2022年度	2
2023年度	2
2024年度	3
2025年度	4



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2025年1月 ～ 2025年12月

項目		活動内容		3月	6月	9月	12月	責任者	取組結果・見直し
CO ₂ 排出量削減	電力使用量削減	○昼休み時間の消灯と不要照明の消灯		○	○	○	○	総務ダクト各部長	達成
		○エアコンの設定温度の適正化 (冷房27(+2)℃・暖房22(+2)℃)		○	○	○	○		
		○夏場、扇風機の使用を心掛ける		○	○	○	○		
		○残業及び夜間時の照明は必要限度		○	○	○	○		
	3カ月毎の累計使用量	1月～3月 10,980 kWh	1月～6月 16,193 kWh	1月～9月 22,850 kWh		1月～12月 27,178 kWh			
燃料使用量削減	○アイドリングストップ		○	○	○	○	メンテダクト各部長	達成	
	○エコ運転の実施		○	○	○	○			
	○不要物の積載禁止		○	○	○	○			
	○タイヤの空気圧の適正化		○	○	○	○			
	○走行経路を事前に検討しておく		○	○	○	○			
	○安全運転の励行及び法定速度の遵守		○	○	○	○			
	○現場への移動は相乗りとする		○	○	○	○			
3カ月毎の累計使用量	1月～3月 4,086 ℓ	1月～6月 8,022 ℓ	1月～9月 12,720 ℓ		1月～12月 15,885 ℓ				
水使用量削減		○節水の徹底、声掛け		○	○	○	○	総務ダクト各部長	達成
		○漏水点検の実施		○	○	○	○		
		○食器等のまとめ洗い		○	○	○	○		
		○節水型機器への更新		○	○	○	○		
廃棄物削減	一般廃棄物	○用紙の裏面使用及び印刷ミスの削減		○	○	○	○	工務ダクト各部長	ほぼ達成
		○伝達事項等メールの活用		○	○	○	○		
		○ゴミの分別を再徹底							
	産業廃棄物	○廃棄物の分別の徹底及び適正処理		○	○	○	○		達成
○産業廃棄物は、できるだけ再生資源処理業者に依頼する		○	○	○	○				
		○マニフェストによる適正な管理・処理を行う		○	○	○	○		
環境に配慮した設計施工の実績		○省資源と高効率化を図る配管ルートの検討		○	○	○	○	工務メンテダクト各部長	達成
		○環境負荷の少ない資材の使用		○	○	○	○		
		○使用材料のロスを最小限に抑える		○	○	○	○		
環境美化活動		○地域ボランティア及び清掃活動への参加		○	○	○	○	営業部長	達成

評価 ○ 出来ている
△ 不十分
× 出来ていない

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



社有車買替
(2025年11月)
ハイブリッド車に買替で
燃費が従来車に比べて
約1.5倍向上しました。



タイヤ空気圧の適正化
定期的に空気圧のチェック実施し
燃料使用量削減の啓発を行っています。

(2) 電力使用量削減



エアコン(室内機)
(2024年 5月)
吹出し口にハイブリッドファン取り付け



社内LED照明に交換
(2025年 9月現在 約63%LED化)

2. 水使用量の削減



節水シール貼付
(2022年 3月設置)
本社事務所内のトイレ節水型の便器に取替

3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底
本社事務所内紙ごみ・雑誌等の分別し、資源ごみとして
再資源化処理業者に委託



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー
 ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面
 コピーを実施することにより、コピー用紙の使用量
 を削減しています。



FAXはパソコン画面から送信
 (新型FAX: 2021年 1月設置)
 受信したFAXは、パソコン画面で確認し、必要な物だけ
 を打ち出しています。これによりコピー用紙削減
 に繋がっています。

(2) 産業廃棄物



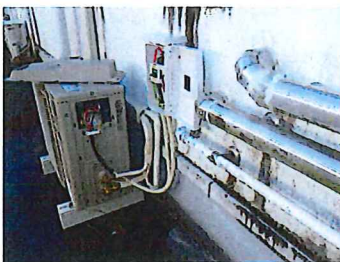
産業廃棄物分別の徹底
 (分別置場: 2006年 6月設置)
 産業廃棄物は分別し、有価物と廃棄物に分別し、産業廃棄物再資源化率
 が向上するよう取り組んでおります。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入
 事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先
 的に購入しています。
 対象商品: コピー用紙、ファイル類、ノート類
 ボールペン、シャープペン等

5. 環境負荷の少ない工事



環境負荷の少ない材料(リサイクル材)の使用
 既存冷媒配管等の再利用

6. 地域貢献活動



地域ボランティア活動
 (2025年度) 高知市内各地の清掃活動を行いました。
 参加回数(4回)

10 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

短期及び
中期目標 (2026年～2027年)

項目	総量	単位	基準年 2023年度 2023.1～ 2023.12	2026年度 目標 2026.1～ 2026.12	削減 目標	2027年度 目標 2027.1～ 2027.12	削減 目標
売上高		百万円	539	600		600	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	102,040	101,188	99%	100,489	98%
電力使用量	総量	(kWh)	35,059	34,700	99%	34,500	98%
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	35,597	35,200	99%	35,000	98%
軽油使用量	総量	(ℓ)	74	200	%	150	%
灯油使用量	総量	(ℓ)	246	220	89%	220	89%
水使用量	総量	(m ³)	267	255	96%	250	94%
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	2,177	2,140	98%	2,100	96%
産業廃棄物排出量	総量	(t)	39.56	39.10	99%	39.00	99%
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.80	94		95	
環境に配慮した工事	総量	(%)	336/336 100%	100		100	
環境美化活動	総量	回	2	4		4	

※1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(令和3年度実績)(令和5年1月24日公表)の四国電力の調整後排出係数0.532(kg-CO₂/k)を使用した。

※2. 環境に配慮した工事
 ○省資源化と高効率化を図る配管ルート検討
 ○環境負荷の少ない資材の使用
 ○使用材料のロスを最小限に抑える

※3. 化学物質は使用していないので目標対象外とする

※4. 産業廃棄物再資源化率(%) = 再資源量 ÷ 総排出量 × 100

(2) 環境経営計画 (2026年度)

期間：2026年1月 ～ 2026年12月

項 目		活 動 内 容	SDG s No	責任者
CO ₂ 排出量 削減	電力使用量 削減	・ 昼休み時間の消灯と不要照明の消灯	11	総務 ダクト 各部長
		・ エアコンの設定温度の適正化 （ 冷房27 (+-2) °C・暖房22 (+-2) °C)	11	
		・ 夏場、扇風機の使用を心掛ける	11	
		・ 残業及び夜間時の照明は必要限度とする	11	
	燃料使用量 削減	・ エコ運転の実施	11	メンテ ダクト 各部長
		・ 不要物の積載禁止	11	
		・ タイヤの空気圧の適正化	11	
		・ 走行経路を事前に検討しておく	11	
		・ 安全運転の励行及び法定速度の遵守	11	
	・ 現場への移動は相乗りとする。	11		
水使用量削減		・ 節水の徹底、声掛け	6	総務 ダクト 各部長
		※ シール等による節水注意喚起	6	
		・ 食器等のまとめ洗い	6	
		・ 節水型機器への更新	6	
廃棄物削減	一般廃棄物	・ 用紙の裏面使用及び印刷ミスの削減	12	工務 ダクト 各部長
		・ 伝達事項等メールの活用	12	
		・ ゴミの分別を再徹底	12	
		※ 電子化の推進（イントラネット）	12	
	産業廃棄物	・ 廃棄物の分別の徹底及び適正処理	7	
		・ 産業廃棄物は、できるだけ再生資源処理業者に 依頼する	7	
		・ マニフェストによる適正な管理・処理を行う	7	
環境に配慮した設計施工の 実績		・ 省資源化と高効率化を図る配管ルートの検討	13	工務 メンテ ダクト 各部長
		・ 環境負荷の少ない資材の使用	13	
		・ 使用材料のロスを最小限に抑える	13	
環境美化活動		・ 地域ボランティア活動及び清掃活動への参加	15	営業部長
		※ SDGs活動参加及び実施		

※印 は新規活動項目です。

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

最新版確認 2026年 1 月 20 日

(1) 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 遵守評価日 2026年 1 月 20 日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	遵守 状況	担当 部署
高知県環境基本条例	第6条 1～4	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 県または市町村の実施する環境保全に関する施策に協力する	必要時	遵守	工務部
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 県または市町村の実施する環境保全に関する施策に協力	必要時	遵守	工務部
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	遵守	工務部
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	遵守	工務部
廃棄物の処理及び清掃 に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任 において適正に処理	必要時	遵守	工務部
	第12条 1～4	○廃棄物の適正処理 運搬、処分業者との処理委託契約書の締結 マニフェストの交付(5年間保存)及び管理 マニフェスト返却状況の管理(B2票、D票90日 と日、E票180日以内) マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道 府県知事(高知県知事)へ提出(6月30日まで)	年1回		
	第21条の 3第1項	○建設工事に伴い生じる廃棄物について、元請 け業者において適正に処理を一元化			
	規則第8条	○保管場所の表示:見易い箇所に掲示板を設置 (縦60cm以上×横60cm以上)			
資源の有効な利用の促 進に関する法律(資源 有効利用促進法)	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コン クリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	遵守	工務部
建設工事に係る資材 の再源化等に関する 法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力	必要時	遵守	工務部
		○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建 設資材を使用する努力			
家電リサイクル法	第43条 1～5	○家電リサイクル券の発行と管理票の管理 (3年間)	必要時	遵守	メンテ部
フロン類の使用の合 理化及び管理の適正 化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第39条 第47条 第5条	○冷媒フロンの回収・破壊の措置	必要時 1回/3ヶ月 1回/1～3年	遵守	メンテ部
		○フロン回収・破壊量の報告書			
		○エアコンの簡易点検			
		○一定規模以上の機器(圧縮機の定格出力7.5kw以上)			
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水 渠等の設置	必要時	遵守	工務部

※高知県、高知市、環境省、国土交通省のHPにより閲覧

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱及び外部からの苦情はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

■定期見直し
□臨時見直し

2026年 1月30日
代表取締役 長瀬 益雄

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 ・環境関連法規制等に関する違反はありません。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・特になし。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 ・指示事項なし。 ④電気・化石燃料について ・電気使用量についてはダクト部が本社に移転したことにより削減につながった。 ・燃料消費量に関しては、受注工事量及び工事現場により左右される。 <改善提案> ・特になし。				【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無 ・環境経営方針は全従業員に浸透しており、現時点では変更の必要性はありません。	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画】 変更の必要性： □有 ■無 ・現時点では大幅な変更の必要性はないが、今後の推移を見ながら検討する。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
CO ₂ 排出量	○	○	活動内容は徹底されているので継続。		
電気使用量	○	○	活動内容は徹底されているので継続。		
燃料使用量	○	○	活動内容は徹底されているので継続。		
水使用量	○	○	活動内容は徹底されているので継続。		
一般廃棄物削減	△	○	活動内容は徹底されているので継続。		
産業廃棄物削減	○	○	活動内容は徹底されているので継続。		
産廃再資源化率	○	○	活動内容は徹底されているので再資源化率の向上を目指す。		
環境配慮工事	○	○	活動内容は徹底されているので継続。		
地域貢献活動	○	○	継続して積極的に参加する。		
<改善提案> ・特になし。				ダクト部： 2025年9月1日本社に移転	
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より ・2025年1月～2025年12月までの間、外部からの環境に関する苦情、要望等はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 ・特になし。 <改善提案> ・特になし。				【総括】 ・今年度は、ダクト部が9月1日より本社に移転したことにより、電気使用量及び水使用量共に下がったのではないかとと思われる。産廃排出量及び燃料使用量に関しては物件の受注量、現場の状況により増減があるものの達成することができました。次年度は再度、全社員が初心にかえり環境負荷低減の意識を高め事業活動に取り組んでいきます。	
代表者が自ら得た情報 ・特になし。					